

一者応札・応募事案フォローアップ票(令和2年度分)

法人名	独立行政法人国際交流基金	
案件番号	3	
入札及び契約方式	一般競争入札(総合評価落札方式)	
契約の件名及び数量	「JFにほんごeラーニング みなと」にかかるシステム稼働環境等の提供及び運用保守業務委託契約	
契約締結日	令和2年12月28日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社ネットラーニング	
入札経緯及び結果	令和2年9月1日 入札公告 令和2年11月5日 説明会 令和2年11月10日まで 質問受付 令和2年11月27日まで システム設計書等閲覧受付 令和2年11月30日 提案書提出締切 令和2年12月11日 面接 令和2年12月18日 開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	クラウドサービスの利用を認める仕様書の見直しを実施した。
②業務等準備期間の十分な確保	○	入札時期を早め、契約期間の開始まで、準備期間として7カ月を確保をした。
③公告期間の見直し	○	入札公告から応札までの期間として90日を確保するなど公告期間の見直しを実施した。
④公告周知方法の改善	○	官報にて公告し、あわせて調達情報ホームページで周知するとともに、見込業者には個別に周知した。
⑤電子入札システムの導入	×	電子入札システムの導入はしていない。
⑥業者等からの聴き取り	○	説明会に来場したが応募を辞退した2者に対してアンケート調査を行った。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
<p>前回入札に比しても入札公告～応札までの期間を長くし、早期の入札実施(落札後のシステム環境構築が新規参入業者でもしやすいう)、クラウドサービス利用の許可、システム設計書等の閲覧の許可など、新規業者の参入を容易にするためのあらゆる手立てを尽くしたが、エンジンやサーバー環境構築にかかる経費面における現行業者有利の状況をカバーするには至らなかった。現行のサーバー設備を使用する限り、また、コース制作に現行のエンジンを使用する限りはこの状況が変化することは見込まれない。今回の契約によりクラウド環境への移行を予定しているため、新規業者の参入が少しでも容易になることが期待される。</p>		
契約監視委員会のコメント		
<p>基金の取組みは妥当であると考える。</p> <p>(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)</p> <p>引き続き上記取組みを実施していく。</p>		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
渡邊一弘委員、宮本和之委員、山本裕子委員、鴨志田文彦委員		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。